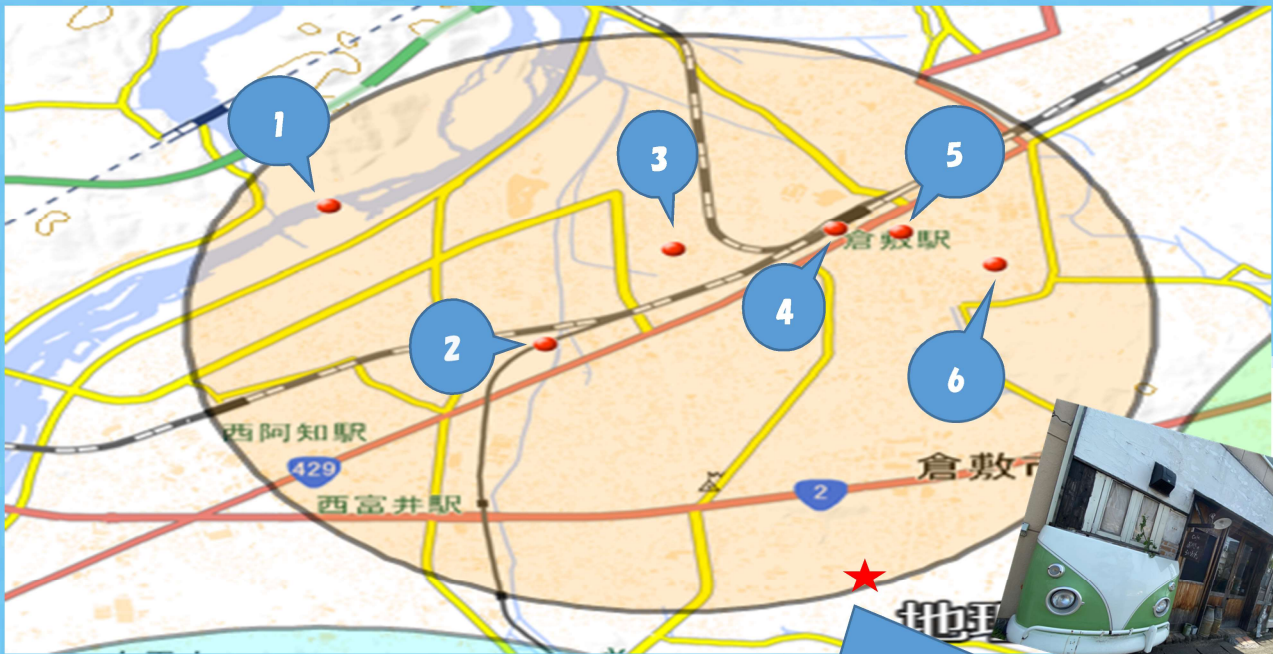


倉敷エリア



出典：国土交通省 地理院地図を編集して使用



① 倉敷大橋

ぶいきのらいおん

通いを歩くと見えてくる、店外の壁から顔を出した緑色の車のオブジェが目印のカフェ。可愛い雑貨が置かれた店内は非常にオシャレです。



橋上からの高梁川は視界を遮るものが無く、雄大な景色を望めます。
自転車やバイクで走ると風を感じて気持ち良く、夏におすすめです。



② ひまわり電車

水島臨海鉄道は、1948年に倉敷市市街地と水島工業地帯との行き来を担う目的で開通し、『ピーホー』という愛称で呼ばれ、現在まで沿線地域を見守ってきました。
愛称『ひまわり号』は、黄色と背景の水色とがマッチし、ほのほのとした気分にしてくれる列車です。



③倉敷市立西中学校



1937年に建てられた木造の校舎が
残されている中学校です。
改修を経て、年代の異なる木々が共存していて歴史を
感じます。
今日も中学生たちが風情ある建物で勉学に励んでいます。
※学校敷地内への立ち入りは、学校の許可が必要となります。



④水島臨海鉄道開通50周年記念

マンホール



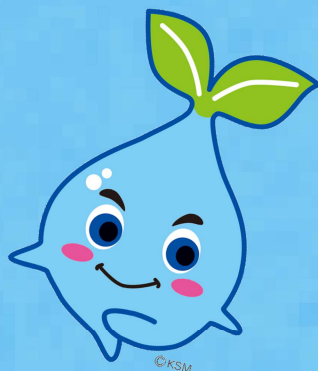
水島臨海鉄道開通50周年を記念して、倉敷市駅・
栄駅・水島駅とで異なるイラストが描かれた
マンホールが設置されています。
倉敷を散策しながら探してみるのもおすすめです。





⑤えびす通り商店街

飲食店や生活雑貨店が多く立ち並び、地域の人々や観光客で賑わうアーケードです。
倉敷駅と美観地区を結ぶ道になっており、足元には倉敷市を象徴する白壁と藤の花をあしらったマンホールや、足跡のペイントが見られます。



⑥阿智神社

1700年を越える歴史ある神社です。
参道の木々や石造りの階段、「阿智の藤」等が見どころです。
藤の花や紅葉等、季節の移り変わりを感じることができます。
倉敷の町を一望することもでき、夜景もきれいです。

